

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立有鹿小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

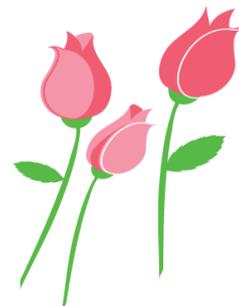
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|------------------------------|------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 資料を読んで、その内容を読み取る問題では、内容の読み取りを十分に行うことができました。また、目的に応じて資料の中から必要な情報を見付けたり、文章を読んで理解したことに基づき、内容を要約したりすることができていました。

- ・資料の内容として、最も適切なものを選択肢の中から選ぶ
- ・資料を読み、その資料の内容を要約したものとして、最も適切なものを選択肢の中から選ぶ

◆課題のある点

- 次の漢字（同音異語）を書く問題では、正答率が全国に比べて低かったことから、漢字の習熟に課題があることが分かりました。

- 正)意外 誤)以外 など
- 正)期間 誤)機関 など

- インタビューの問題では、正答率が全国に比べて低かったことから、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、どのように受け答えすればいいのか考えることに課題があることが分かりました。

- ・インタビューの前後関係から、どのように質問をすることで、相手の考えをより知ることができるのか、適切なものを選択肢の中から選ぶ

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「習得した漢字を文や文章の中で使う力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

| 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|---|---|--|
| 普段から漢字を使って、文章を書くことに取り組んでいきます。 ○漢字の学習では、習った漢字を使って文を書く。 ○自主学習では、日記を書くなど、漢字を使って文を書くことに慣れ親しむ。 | 漢字の学習では、漢字の意味について理解できるような活動を取り入れていきます。 ○日常的に熟語を使って文を書くことに慣れる。 ○国語辞典を使って、意味を調べることに慣れる。 | 一人ひとりの学力に合わせて漢字の習得に取り組んでいきます。 ○漢字練習は、単語ではなく、文章で書く習慣を身につける。 ○日常的に国語辞典を活用して、意味や熟語を調べる習慣を身につける。 |

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○表から読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ問題では、次のような設問に答えることがよくできていました。

- ・表から30分以上の運動をした日数が2日以下の人の中でも、運動が好きな人のほうが、あまり好きではない人より多いことがわかる数を読み取るために、「30分以上の運動をした日数」が「2日以下」という項目に着目して、選択肢の中から選ぶ

◆課題のある点

○2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ問題では、()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題がありました。

- ・厚さ5cmの国語辞典と厚さ4cmの漢字辞典を、学級の人数28人分並べた長さを表す式が二つある。その式の中の、 5×8 と $(5+4)$ が表しているものを選択肢の中から選ぶ

○テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と特徴を選ぶ問題では、その形が台形であることや、台形の意味や性質について理解できていないことに課題がありました。

- ・上の直線と下の直線が平行であるテープから2本の直線で切り取られた四角形がいくつかある。その四角形は、向かい合った一組の辺が平行であることに着目して、選択肢の中から形の名前と特徴を選ぶ

今後の具体的な指導改善のポイント

○「日常生活の場面を式に表したり、式と場面を関連付けて読み取ったりする力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

| 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|---|---|--|
| 日常生活の場面から加法や減法の式に表す学習を取り入れていきます。 ○具体物を操作して式との結び付きを実感できるようにする。 ○自分で問題をつくる機会を増やし、式と場面を関連付ける力を育てる。 | 日常生活の場面から四則計算を式に表す学習を取り入れていきます。 ○日常生活の場面で立式する機会を増やし必要感を持たせる。 ○問題から読みとれたことを図や絵で表現し、立式につなげられるようにする。 | 式から問題の意図や意味を説明できるようにする学習を取り入れていきます。 ○立式するために必要な情報は何か確認する。 ○問題場面に合わせて図や式を用いて表現し、伝え合う機会を増やす。 |

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)」

【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均と比べ、かなり高い結果となりました。

【分かること】

外国語の授業も前向きに取り組む児童が多いです。今後も習ったことを生かし、様々な方法(見る、書く、交流する等)で、英語に触れる経験を増やしていくと、さらに大きな力につながります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」

【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、低い結果となりました。

【分かること】

学級会で話し合うことの良さ、自分と違う意見を受け入れる姿勢を、低学年から少しずつ指導していく必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」

【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、かなり高い結果となりました。

【分かること】

学校の中で相談できる大人が多いことがわかります。担任、学年、専科等で関わる教員が、相談しやすい・話しやすい雰囲気を作り出すことができていると思われます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか」

【結果】

全国平均と比べて、特別低いわけではありませんが、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と答えている児童が、22.6%いることがわかりました。

【分かること】

本校の学校目標の一つである「多様性の尊重」を目指すためには、自分と違う考えを受け入れる姿勢を持たせるよう支援する必要があります。

今後の具体的な取組について

「他者の考えを認めながら、課題を解決する力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

| 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|---|---|--|
| 「話して良かった」「伝えたい」と思える機会を作っていきます。 ○担任が受容的に聞いて、児童のモデルになる。 ○上手に伝え合うための話型を学習の中で取り入れ、普段から相手の考えに耳を傾ける土台を作る。 | 自分の考えを伝えたり、相手の気持ちを尊重して聞いたりする機会を作っていきます。 ○話し合い活動では、友だちの考えを認めたり、より良いアイディアにしたりすることができるよう、ポイントをおさえる。 | 多様な考えを受け入れ、より発展的に考える機会を作っていきます。 ○ソーシャルスキルトレーニング、グループエンカウンターなどを授業で取り入れ、伝え合う力を身に付けられるようにする。 |

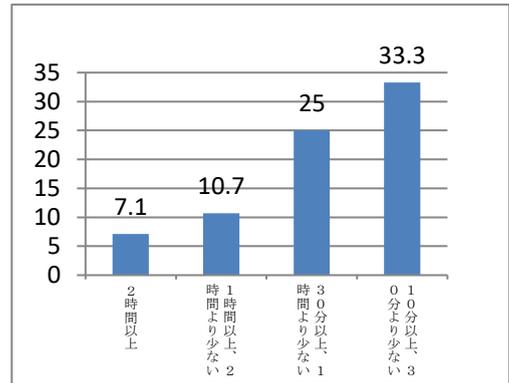
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

たくさんの本に親しみ、 読書を楽しみましょう

読書は集中力を養ったり、語彙力が高まったりします。語彙力が高まるほど、相手に合わせた言葉をうまく選ぶことができるようになり、コミュニケーション能力も高まります。

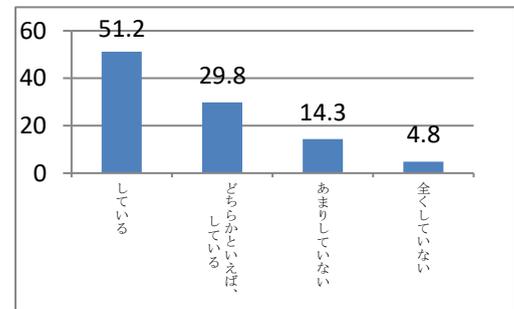


学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか(電子書籍の読書を含みます)(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)

2

規則正しい生活を送り 睡眠の質を上げましょう

毎日の生活リズムを整えることで、質のよい睡眠をとることができます。睡眠時の脳内では、1日の学んだことを整理し、記憶をしています。つまり、よく睡眠をとることで学習効果を高めることにつながります。

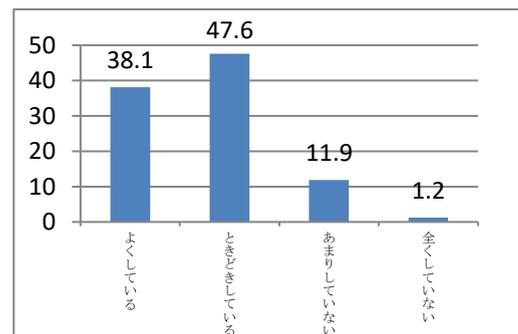


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

3

計画的に勉強をする習慣を つけましょう

計画的に勉強をする習慣をつけることで、学校で行った学習の理解につながるとともに、計画性が養われます。自分で学習のスケジュールを作り、取り組むことで自己管理能力を高めることにつながります。

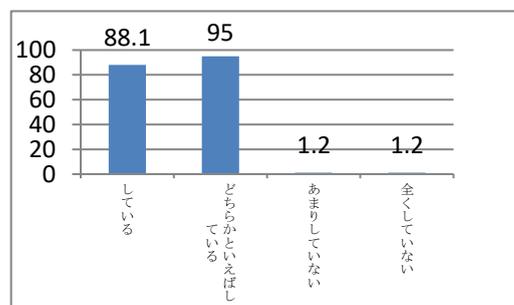


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)

4

朝食は、1日の元気の源です しっかり食べましょう

朝ごはんを食べることで、脳や内臓にエネルギーが供給され、体温が上がり、頭がはっきりとします。文部科学省の調査でも、朝食を毎日食べる子どもの方がテストの正答率が高いという結果が出ています。



朝食を毎日食べていますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係